

佳作 成長すればするほど孤独になります



オン ティ アイン グエット
ON THI ANH NGUYET
国 籍 ベトナム
職 種 紙器・段ボール箱製造
実習実施者 伸興荷材株式会社
監 理 団 体 GTS 協同組合

小さい頃は何も心配する必要が無かったことを覚えています。悲しい時は泣きました。楽しい時は笑いました。私は子供の時はおいしい食事と好きなゲームについて考えてだけで心配事は全く有りませんでした。しかし不自由も有りました。私は遊びたいのに両親からは宿題をさせられました。

自分の考えを言いたいのですが大人は「子供達は何かを知っている。どこか別の場所に遊びに行く。」と言いました。そんな時は早く大人になりたいと思いました。大人は誰にも管理されなく自分の好きなことができます。しかし大人が直面する困難は決して知りません。

私はだんだん成長して大人になります。今では自分の好きなことができます。自分の未来のためにいろいろなことを決めます。そして成長するためには家族や友達から離れて夢を築く必要があります。その時は誰もそばにはいません。自分で生活をしなければなりません。友達も忙しので相談する人はいません。家族とは遠く離れて生活しているので両親とは携帯電話でしか話できません。その時は私が幸せに生活していると見えるように

いつも笑顔で「全てがうまく行っている。」と言います。疲れていても落ち込んでいても両親を心配させることはあえて言いません。

私は自分自身でしかいろいろなことを挑戦できません。悩みが大きいと時々子供の頃に戻りたくなりますが心配はいりません。大人になると仕事をしなくてはいけないので会社に行くのは気が重くなります。そしてアパートに帰って家事のことや生活費のことを心配してしまいます。

技術は進化し人々のコミュニケーションも少なくなつて来ています。特に若者が都会に就職した時は仕事のことしか関心が無く、仕事から帰ってきたらいろいろな理由から周囲の人と触れ合おうとは思いません。

私も忙しい日は部屋で体を休ませたくなり、周囲の人とむだな時間を取りたくありません。また、見知らぬ人との交流も敬遠します。だから私は親しい友人がいません。だから急いで部屋に帰って友人や家族に電話をします。慣れない街には頼りになる人がいません。だから私は自分自身でいろいろなことを考えて決めなければなりません。私を強くするのは孤独です。時々問題に突き当たることがありますが相談する人がいません。その時は「私が始めた理由を思い出す。」ことが大切です。そしてもっと頑張ろうと気持ちを切り替えます。

自分が成長したことに気づいた時に「孤独は成長の代償である。」と気づかされます。しかし孤独とはコミュニケーションを取らなくて心を閉じることではないと思います。成長するための孤独は自分の環境をより良く築くことでもあります。だから私はそれによって自分自身を今以上に成長させて行きます。